



事業番号	15 05 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S54 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり 1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重度の障がいのある児童生徒から、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な児童生徒まで、多様な教育的ニーズのある児童生徒1人1人に対して、小・中・高校、特別支援学校において適切な教育・支援が提供されている。 ○ 教職員の専門性が向上し、インクルーシブな教育が実践されている。 ○ 学校・保護者・市町村教育委員会・地域の関係者等が連携・協働して児童生徒の現在及び将来の自立を支援している。 ○ 特別支援学校高等部生の就労率向上のため、就労コーディネーターの配置に加え、特別支援学校技能検定の実施校拡大により、生徒の就労意欲向上と就労のための技能の修得を図るとともに、企業との連携が強化されている。 	
これまでの取組	OLD等通級指導教室※の増設、外部専門家派遣、副学籍コーディネーター及び就労コーディネーターの配置 など (※通常の学級に在籍している学習障がい等のある児童生徒に対して、一定の時間障がいに応じた特別の指導を行う教室)	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい等があり特別な支援が必要な児童生徒数の増加(R元:5.29%→R2:5.73%※)に伴い、地域における支援体制の更なる充実が求められている。(※義務教育で発達障がい等の診断等のある児童生徒の割合) ・実習先の更なる開拓や障がい者雇用に係る企業の理解の促進の必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「適切な学びのガイドライン」を活用した校内の支援体制の充実、特別支援教育コーディネーターの養成研修、自立活動担当教員の配置等の事業を引き続き推進し、教員の発達障がいに対する理解の促進と支援力の向上を図る。 ・技能検定の取組を広く企業等に紹介するとともに、進路指導主事と就労コーディネーターの連携により、生徒の希望に応えられるような実習先の更なる開拓を進める。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・各校に設置している学級担任をサポートする専門性サポートチームの人員を増員し、児童生徒への個別学習(障がいの困難さを克服改善する自立活動)の機会を拡充 ✓ インクルーシブな社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の多様な学びに対応するLD等通級指導教室を増設(11教室) ・小中学校との交流を支援する副学籍コーディネーターの配置(4人) ・生徒の働く意欲とスキルの向上を図る特別支援学校技能検定の実施(清掃部門・喫茶部門・食品加工部門) 	 <p>ピアニストによる特別授業</p>  <p>技能検定喫茶部門</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	発達障がい児等総合支援事業において、発達障がい等により特別な教育ニーズのある児童生徒が、できる限り通常の学級に在席しつつ適切な教育が受けられるよう学びの場を整備するとともに、一人一人に応じた学びの場の判断が適切に行えるようLD等通級指導教室を増設(83教室→94教室)し、学びの県づくりを推進	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	小学校における通級指導教室を利用している児童の割合	%	0.60	↑	0.73	↑	0.81	1.00
2	高等学校における個別の指導計画の作成を必要とする生徒のうちの作成している生徒の割合	%	44.0	↑	44.9	↓	34.9	50.0
3	副次的な学籍に取り組む市町村	%	71.4	↑	83.3	↑	87.9	92.4
4	特別支援学校高等部卒業生の企業就労率	%	30.1	↓	21.7		21.7	33.6
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	0	0	
当初予算	1,869,678	2,539,412	要求 2,806,503 予算案 2,787,503	
補正予算	-1,530	0		
合計(A)	1,868,148	0	要求 2,806,503 予算案 2,787,503	
うち一般財源	1,323,259	1,925,980	要求 1,975,948 予算案 1,962,313	
決算額(B)	1,852,310			
職員数(人)	7.11	7.11		

設定理由	成果指標	1.通常の学級を基盤としつつ、障がいの状態を改善又は克服を目的とする指導を受けられる体制(通級による指導)及びその拡充が必要であるため 2.高等学校における発達障がい等による学習上又は生活上の困難の改善・克服のため 3.特別支援学校へ通う児童生徒と地域の小・中学校に通う児童生徒が、同世代の友として将来にわたっての関わりを育むため 4.一般企業への就労を希望する生徒の進路実現と、企業側の障がい者の理解や受入れに向けた取組を促進するため
	目標値	1.第2次長野県特別支援教育推進計画でR4年度に1.0%と設定 2.第2次長野県特別支援教育推進計画でR4年度に50%と設定 3.R3年度の市町村調査によりR4年度制度化を予定している市町村数から設定 4.第2次長野県特別支援教育推進計画でR4年度に33.6%と設定

予算要求からの主な変更点	看護師の配置方法を見直し、就学奨励事業の報酬等を減額
--------------	----------------------------

事業番号	15 05 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援教育推進事業費			部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
1	給与費等	168,496 千円	240,970 千円	要求 予算案	240,963 238,967 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	障がい者チャレンジ雇用事業	直接	県立学校等において、肢体不自由障がい者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者(117名)を雇用			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
2	特別支援教育推進指導事業	1,572,575 千円	2,145,749 千円	要求 予算案	2,385,984 2,385,601 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	発達障がい児等総合支援事業	直接	地域の中核となるコーディネーターの養成研修、出前研修、LD等通級指導教室担当者専門性向上研修事業、多層指導モデル構築の推進事業、専門機関との連携強化事業、高等学校特別支援教育強化事業の実施			
2	特別支援学校センター的機能充実事業	直接	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援、外部専門家(OT,PT,ST)や芸術家、スポーツ選手等を特別支援学校に派遣			
3	特別支援教育充実事業	直接	自立活動担当教員の増員、自立介護支援員の配置、LD等通級指導教室担当教員の増員、長野県特別支援教育連携協議会の開催、副学籍コーディネーターの配置、特別支援学校の専門性向上事業の実施、「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業の実施			

事業番号	15 05 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	特別支援教育推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
3	就学指導事業	37,282 千円	38,893 千円	要求 予算案	36,349 35,879 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	就学相談体制整備事業	直接	特別支援教育推進員の配置、長野県教育支援委員会の開催			
2	交流教育推進事業費	直接	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流			
3	特別支援学校就労支援総合事業	直接	技能検定の実施校拡大、就労コーディネーターの配置、産業現場等における実習の実施			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
4	就学奨励事業	91,295 千円	113,800 千円	要求 予算案	143,207 127,056 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	医療的ケア体制整備事業	直接	学校看護師の配置、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修の実施			